

## II 基本構想

---

### (1) 将来都市像

# ひと・自然 愛があふれるまち

豊かな農産物や川、緑などの「自然」と、心のあたたかさや地域の絆などの「ひと」。これらは本市の大きな魅力であり、強みです。私たちの財産である「ひと」と「自然」を誇りに思い、愛し、次世代に伝えていけるよう、そしてまちづくりの過程においてこれらの魅力が市内外に広がって、多くの人に愛される愛西市となっていくよう、将来都市像を「ひと・自然 愛があふれるまち」とします。

### (2) まちづくりの基本理念

本市のまちづくりの根底をなす、基本的な理念として次の3つを掲げます。すべての取組のなかで次の視点を持って施策の展開を図ります。

#### ①協働によるまちづくり

まちの未来を市民と行政とが共有し、適切な役割分担と協働により、地域課題の解決やまちの発展に取り組みます。すべての取組において、「自助・共助・公助の役割分担の明確化」や「市民参加の仕組みづくり」「市民主体の地域づくり」の視点を持って進めます。

#### ②持続可能なまちづくり

人口減少、少子高齢化に的確に対応するとともに、変化する社会経済情勢等に柔軟に対応しながら安定した行財政運営を進め、将来にわたって自立できる、持続可能な発展をめざします。

#### ③絆を大切にするまちづくり

安心して暮らすことができるコミュニティの形成に向けて、人と人がつながり合い、感謝し合い、協力し合える、絆を大切にする地域づくり、人づくりを進めます。

## 第2章 基本フレーム

### (1) 将来人口

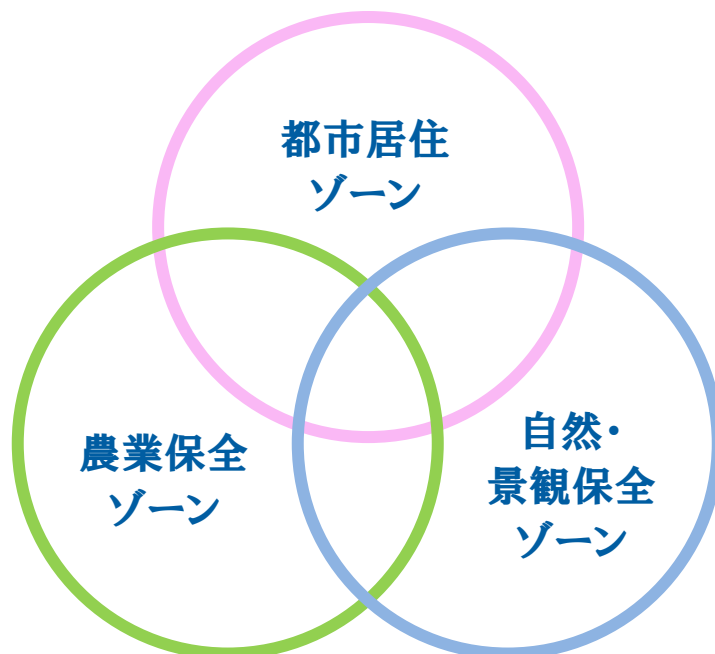
本市の人口は、平成12年をピークに減少に転じており、平成27年の国勢調査における総人口は63,119人と、平成22年と比較して1,859人減少しています。

全国的に人口減少、少子高齢化が進行しており、本市も例外ではありません。しかし、本市では30歳代～40歳代前半及びその子ども世代の転入がみられることから、若い世代を本市に呼び込み、定住を促進するとともに子どもを産み育てやすい環境づくり等を進めることで、計画の最終年度（平成37年度（2025年度））の総人口を61,000人と想定します。

### (2) 土地利用構想

本市は肥沃な土壌に恵まれ、農業が盛んで自然豊かな地域です。加えて名古屋近郊で利便性が高いことから、他市町村に通勤・通学する市民が多いベッドタウン的な要素も持っています。このような中、現在の自然環境や農業環境を保全しつつ、市民の居住価値を高めるための土地利用が必要になっています。

これからの人口減少、少子高齢化に適切に対応するとともに、本市固有の良好な自然環境を保全しながら、総合的、長期的な視点に立って計画的な土地利用を推進します。



将来都市像を実現するための分野別の目標を、次に掲げます。

### 基本目標1 良好な環境を未来につなげるまちづくり (市民協働・環境・上下水道)

多くの市民が様々な活動に参加できる環境をつくとともに、地域において活動を担う人材や組織を強化することで、市民協働のまちづくりを進めます。また、地域の豊かな自然環境の保全や環境配慮行動の活性化を進めるとともに、衛生的で快適なまちづくりを進め、次世代に愛西市の良好な環境を伝えます。

### 基本目標2 みんなでつくる安全・安心なまちづくり (防災・防犯・消防・交通安全)

一人ひとりの防災・減災の意識を高めるとともに、地域において災害時の避難や支援体制を構築し、市民の生命や財産を守ります。また、地域での見守り活動等を充実し、犯罪や事故等の不安のない、安全・安心な地域づくりを進めます。

### 基本目標3 心身ともに健やかなまちづくり(保健・医療・福祉)

健康づくりや地域医療体制の充実を図るとともに、高齢者、障害者福祉サービスや子育て支援サービスの提供により、誰もが心身ともに健やかに暮らせるまちを構築します。さらに将来的には、各種福祉サービスの総合化・包括化を進めるとともに住民主体による地域課題の解決力を高めることで地域共生社会の実現をめざします。

### 基本目標4 活力とにぎわいあふれるまちづくり(産業)

本市の強みである農業の活性化を図るとともに、商工業や付加価値の高い新たな産業の創出・振興に取り組みます。また、農業や自然、文化などの本市固有の資源を生かした観光振興や魅力の発信を進めます。

### 基本目標5 快適で便利なまちづくり(都市基盤)

各種道路の整備を進めるとともに、各種都市基盤の整備や耐震化、適切な維持管理を進めます。また、ゆとりと潤いのある住環境を整えるとともに、巡回バスや鉄道等による地域公共交通の利便性を高めることで、市民の居住満足度を高めます。

## 基本目標6 一人ひとりの学びを支えるまちづくり（教育）

家庭、地域、学校などの連携により、本市の子どもたちを健やかに育みます。また、生涯を通じて学習、文化・芸術活動、スポーツ活動に親しめる環境を充実するとともに、地域の歴史・文化、祭りなどの継承に取り組みます。

## 基本目標7 市民に信頼される、安定した行財政運営（行財政運営）

効率的な行財政運営に取り組み、持続可能で自立したまちづくりを進めます。また、市民ニーズや新たな時代の動きに的確に対応し、市民の視点に立った行政サービスの提供や情報発信、適切な施設の管理・運営等に努めます。

序論

基本構想

基本計画

資料編